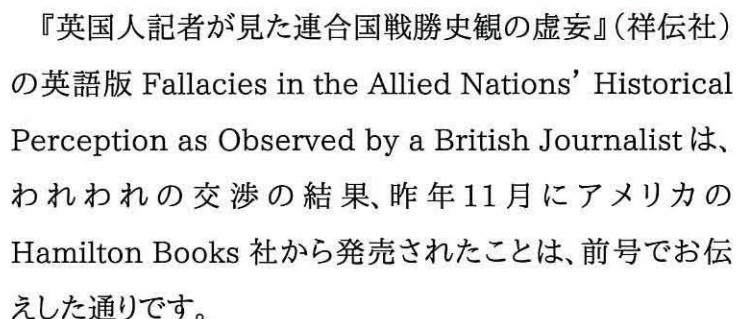


編集人 茂木弘道

AWARD



「国家基本問題研究所」(理事長：櫻井よしこ)は、平成26年、外国人による優れた日本研究を顕彰、奨励する「国基研日本研究賞」を創設しましたが、本年度の「特別賞」に、

ストークス氏の英文著書が選ばれました。

櫻井よしこ理事長は講評で「外国特派員の圧倒的多数がいわゆる東京裁判史観に染まったまま、そこを突き抜けより深い日本理解の域に達する事ができないのとは対象的に、日本文明の真髄に近づくことのできた少数の外国人の一人である。…フェアで奥深い歴史観がストークス氏の作品を支えている。」と述べています。

ストークス氏とともにわれわれの活動が評価された事になります。頑張っていきたいと思います。

日中を公平に 新鮮な視点

櫻井よしこ
国基研理事長

田久保忠衛
國基研副理事長

選考委員
櫻井よしこ・国家基本政策研究所所長
(委員長)
田久保忠晴・国富研理事長、杏林大学
名誉教授 (副委員長)
伊藤隆・東京大学名誉教授
平川昭弘・京大名誉教授
宮内浩一・拓殖大学準顧問
高池勝孝・国富研専任理事、弁護士

自虐史觀から脱却を

最終章では「日本人は自らの歴史に誇りを持つべきだ」

来月5日 ドレイヤー氏記念講演会

日時 2017年7月5日(水)
午後3時〜午後4時(開演午後2時)

会場 日本橋(東京都千代田区内幸町2の1の1
6階4F-4)

会費 5000円(一般)、1000円(国研会員)
※当日日本橋のお申込みはできません

申し込み方法 【国研協会参加希望】と、お席の順上。氏名
(国研協会会員は会員名簿より)と、郵便番号、住所、
電話番号を記入し、1枚ずつお申し込みください。お申し込み
込みに応じます。参加が確定いたします。定員(450
人)に達し次第締め切ります。

申し込み期間 2016年(日)必着
〒112-0093 東京都千代田区平河町2の8の10
階 国研協会ビル2F 3期 公益財団法人 国家基本政策
研究センター 5号

FAX 03-3222-7381 URL <http://inf.jp>

ストークス本献本 キャンペーンへの協力 ありがとうございました

合計98名の方から、総額169万6千円のご献金をいただきました。有り難うございました。改めて御礼申し上げます。

献本は、198の大使館、領事館、35人の在日学者、外国人特派員協会のジャーナリスト60人余に、まず行いました。

駐日外交団長を務められているサンマリノ共和国のカデロ大使からは、親しくされている大使など30人に直接この本をプレゼントしていただきました。

機会を見てプレゼントをしておりますが、先日はカリフォルニア大学バークレー校のスタデツアーの学生に10部プレゼントしました。また、アメリカの海軍兵学校生5名を自宅ホストなど、面倒を見ておられる反田邦彦様からは、見送ったときに生徒の一人から、「頂いた本を完読した。大変勉強になった。」とのコメントがあったとご連絡をいただきました。色々活用していただければと思っております。

また、外務省の外郭団体である「日本国際問題研究所」からは、80部のご注文をいただきました。これからも多方面に広げていくようにしていきたいと思っております。

第4回「国基研 日本研究賞」発表 記念講演会開催

7月5日(火)には、受賞者による記念講演会が行われます。下記のとおりです。ストークス氏は体調が芳しくないため講演ができませんが、もう一人の受賞者であるジューン・トーフ・ドレイヤー・米マイアミ大学教授による記念講演が行われます。

今回の受賞対象となったのは、Middle Kingdom and Empire of the Rising Sun: Sino-Japanese Relations, Past and Present (中華帝国と旭日帝国：日中関係の過去と現在、オックスフォード大学出版、2016)です。

この本については、われわれの仲間の Aldric Hama 氏が The Journal of Social, Political and Financial Studies の昨年の冬号に12ページに及ぶ力作書評を寄稿したことが広く知られるようになったきっかけとなっています。

また、この日本語訳を英文とともに、われわれの Newsletter No.156 に、今年の1月に掲載したこともこの本が注目を浴びるのに貢献しています。

実は、ドレイヤー教授は、われわれの Newsletter のアドレスに載っていましたが、かなり初期の段階から、レスポンスをよこしてくださいました。尖閣が日本領であることを示している中

国政府の内部資料のカラーの地図を送ってくださったこともあります。また、今度の本の bibliography の中に、発信する会の URL も載せています。

今回は2つの受賞作にわれわれの活動が貢献しているということは、大変嬉しい限りです。

**公益財団法人
国家基本問題研究所 第4回**

7月5日(水) 記念講演会開催 司会/榎井よしこ

【講演会の申込み】第4回「国基研 日本研究賞」受賞者(ジューン・トーフ・ドレイヤー・米マイアミ大学教授)による記念講演会を開催します。



ドレイヤー・米マイアミ大学教授

【日時】7月5日(水)
15時～17時(開場14時)

【場所】イノホール
(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビル4F)

【会費】3,000円(一般)
1,000円(国基研会員)

※会費は税込みです。当日会場での申込みはできません。

◎お申込み方法/（記念講演会参加希望）と明記の上、氏名（国基研会員は会員番号も記入）、郵便番号、住所、電話番号を記載し、電費もしくはFAXでお申し込みください。参加費を郵送いたします。
定員(450人)に達し次第締め切ります。※お申し込み期限: 6月28日(月)必着

入会案内 志を共有し、日本を愛する方々、国基研は広く会員を募集しております。入会希望の方は郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記して郵送もしくはFAXにてお送りください。お申し込みと入会申込書をお送りします。ホームページからも入会できます。

TEL 03-3222-7821 FAX 03-3222-7821 URL <http://jinf.jp/> 国基研 検索

史実を世界に発信する会 役員・顧問

代表 加瀬英明

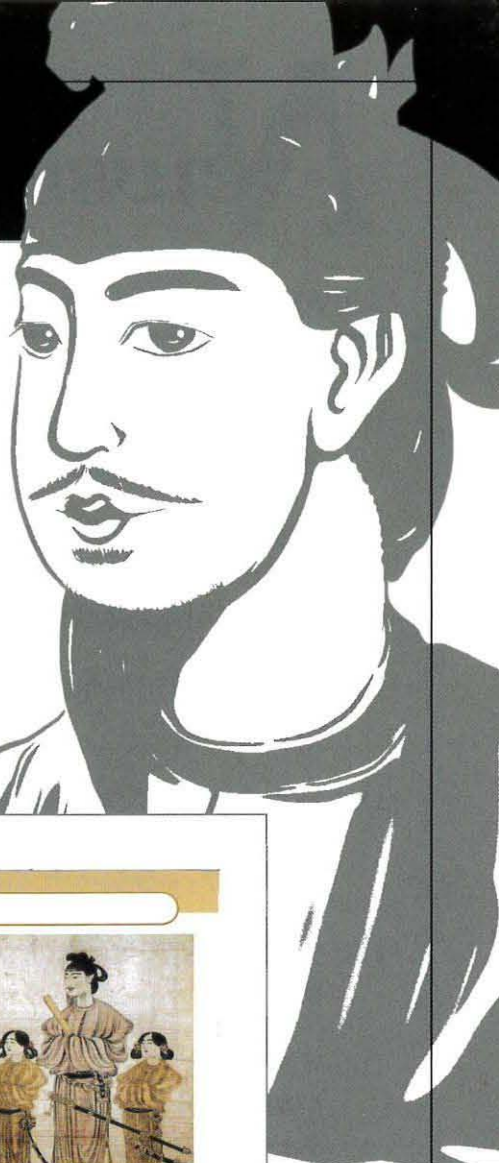
委員 茂木 弘道(代表代行)	委員 佐々木 俊夫	顧問 長谷 百合子	顧問 小堀 桂一郎
委員 西大路 達樹	委員 岡野 俊昭	顧問 大原 康男	顧問 百地 章
委員 藤田 裕行	委員 奥本 康大	顧問 長谷川 三千子	顧問 杉原 誠四郎
委員 菊地 正	委員 森 進一郎	顧問 日下 公人	顧問 石 平
委員 原島 聰	監事 濱田 大三	顧問 藤井 厳喜	顧問 高山 正之
委員 東郷 勇策		顧問 ペマ・ギャルポ	顧問 田久保 忠衛
		顧問 宮崎 正弘	

『新しい歴史教科書』

英文対訳版に着手

『新しい歴教科書』(自由社)に対しては、東京裁判史観の呪縛から逃れられない左翼、反日派、自称良識派などから「右寄り」であるなどという見当はずれの批判があります。海外でも、「修正主義」であるなどという決めつけがあります。では自分でこれを読んでみろ、どこがおかしいのか言ってみろ、ということで英訳版を対訳形式で発信していくことにしました。世界に堂々と通用する教科書であるということを日本の批判派にも、ぶつけていこうというわけです。

5月1日の Newsletter No.165 から掲載を開始し、これまでに4回、第1章、第2章が終わったところです。秋までには全章完了する予定です。



Section 3 - The founding of the Ritsuryo State

Topic 11 - Prince Shotoku's political revolution

Under what circumstances did Prince Shotoku implement his new style of politics?

| 58

The unification of China under the Sui dynasty

At the end of the sixth century, a momentous development took place in continental Asia. In 589, the Sui united all of China for the first time in about three hundred years. The emergence of the Sui dynasty, which had a powerful military presence, was a serious threat to the nations of East Asia. The Korean nations of Silla, Koguryo, and Paekche paid tribute to and accepted titles from the Sui. Japan, too, was under pressure over how to respond to the rise of Sui China.

The appearance of Prince Shotoku

The person who led Japan at this crossroads in its history was young Prince Shotoku (Prince Umayado). Prince Shotoku was born into the Imperial Family of Japan. His reputation for intellectual brilliance was such that it inspired a legend that he could listen to and pass judgment on ten legal complaints brought before him simultaneously. When Suiko, Japan's first empress, assumed the throne in 593, Shotoku was appointed regent¹ at the young age of twenty in order to assist her.

*1=A regent, or *sessho* in Japanese, exercised political power in the place of the Emperor. In later periods of history, regents were only appointed when the Emperor had not yet reached the age of majority.

In 600, Shotoku dispatched envoys to Sui China. This was the first time in 120 years that Japan conducted diplomacy with a Chinese dynasty. Shotoku learned from his envoys just how powerful the Sui dynasty was. He realized that in order to grow as an independent nation, Japan would need to adopt mainland Asia's advanced technology and political structures.

Topic 11 Recap Challenge! - Explain Shotoku's new style of politics using the following three terms: Sui dynasty, capable men, constitution.

第3節 律令国家の建設



11 聖徳太子の新しい政治

聖徳太子が新しい政治を始める背景は何かののだろうか。



聖徳太子(574～605)の像として知られている、ワタケツツミの肖像画。(宮内庁蔵)

隋の中国統一

6世紀の末、大陸では重大な変化がおこった。589年、隋が中国全土を約300年ぶりに統一したのだ。強大な軍勢力をもつ隋の出現は、東アジアの国々にとって大きな脅威だった。朝鮮半島の百濟、高句麗、新羅は、隋に冊封された。日本も、これにいかに対処するか、態度を迫られることになった。

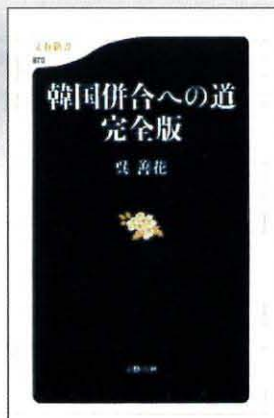
聖徳太子の登場

このような絶境に立っていた日本にあらわれたのが、聖徳太子(Prince Shotoku)という若い指導者だった。聖徳太子は皇族の一人として生まれ、一度に10人の詔を聞き分けることができるという伝説が残されているほど聡明な人物だった。初めての女帝として推古天皇が即位すると、593年、聖徳太子は、20歳の若さで天皇を助ける摂政となった。

600年、聖徳太子は、隋に使者(遣隋使)を送った。日本が中国の王朝と交渉をもつのは120年ぶりのことだった。遣隋使によって隋の強大さを知った太子は、日本が独立した国家とし

これからの翻訳、掲載予定

論文については、随時、重要と思われるものを翻訳掲載していきますが、書籍としては、次の2点の翻訳に取り掛かっており、連載を近々開始する予定です。



『韓国併合への道—完全版』
(呉善花) (文春新書)



『歴史とは何か』
(黄文雄) (自由社)

Newsletter



Newsletter: No.151~170

- 151 『外務省の罪を問う』(杉原誠四郎著、自由社) 書評と英訳版のご案内
- 152 国連が世界に広めた「慰安婦＝性奴隷」の嘘 第14回第六章 露わになった「国連の正体」と今後の展望
2. 国連の仕組みと今後のスケジュール 細谷清
- 153 大東亜会議70周年記念シリーズ-11 東條英機首相の演説
- 154 日本の真珠湾攻撃が西欧の支配からのアジア解放の引き金となった
セナカ ウィーララトゥナ, 弁護士(スリランカ)
- 155 大東亜会議70周年記念シリーズ-12 大東亜共同宣言
- 156 <ブックレビュー> 『中華帝国と旭日帝国：日中関係—過去と現在』
ジューン・トーフル・ドレイヤー著
- 157 中国政府によるAPAへの不当介入に「新しい歴史教科書をつくる会」抗議声明
- 158 中国の尖閣領有権否定のもう一つの根拠
日清戦争以前のイギリス・ドイツの地図に日本領となっている
- 159 国連特別報告者デヴィット・ケイ教授の「予備的報告書」に「慰安婦の真実 国民運動」が意見書提出

- 160 日本の参戦によりヨーロッパ植民地主義体制が崩壊しその恩恵を受けたスリランカの独立
セナカ ウィーララトゥナ, 弁護士(スリランカ)
- 161 『通州事件：目撃者の証言』(自由社ブックレット)
藤岡信勝編著
- 162 Bill79「南京虐殺記念日」制定に対する反対意見書 シャロン・アイザック
- 163 『戦争を仕掛けた中国になぜ謝らなければならないのだ!—「日中戦争」は中国が起こした—』
(自由社) 茂木弘道著
- 164 『大東亜戦争で日本はいかに世界を変えたか』
加瀬英明著・KKベストセラーズ社刊
- 165 国連特別報告者デヴィット・ケイ教授の「暫定報告書」に「学者グループ」が意見書提出
- 166 『新しい歴史教科書』(新版・中学社会)(自由社) 英訳シリーズ その1-序章「歴史のとらえ方」
- 167 『新しい歴史教科書』(新版・中学社会)(自由社) 英訳シリーズ その2 第1章「古代までの日本」1節、2節
- 168 『新しい歴史教科書』(新版・中学社会)(自由社) 英訳シリーズ その3 第1章「古代までの日本」3節、4節
- 169 北朝鮮の非核化の向けての戦略・戦術
元城西大学教授 杉原誠四郎
- 170 『新しい歴史教科書』(新版・中学社会)(自由社) 英訳シリーズ その4 第2章「中世の日本」1節、2節、3節



支援金募集中

日本の名誉を守るために、海外に向けて情報発信を実行しています。国を思う皆様のご支援を是非お願い致します。

個人会員(年会費 1 〇) 1 万円
賛助会員(年会費 1 〇) 10 万円
法人会員(年会費 1 〇) 30 万円
支援協賛金(金額随意)

+ 郵便振替 00170-1-389220
+ 三井住友銀行日比谷支店 普通 8286008
口座名：史実を世界に発信する会

※会費・賛助金等をいただいた方のお名前は、イニシャルにて、収支報告書ページに掲載します。又、収支報告書は、半年ごとに作成して掲載します。

史実を世界に発信する会たより

Vol.13 平成29年7月1日

発行所

史実を世界に発信する会

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-13-14

新佐久間ビル 3F

電話 03-3519-4366

FAX 03-3519-4367

日本語版サイト <http://hassin.org/>

英語版サイト <http://www.sdh-fact.com/>

事務局メールアドレス info@hassin.sakura.ne.jp

日本の名誉を守るために

「史実を世界に発信する会」は、世界に向けて英文による情報発信を行っています！

南京、慰安婦、東京裁判、大東亜戦争、
日中戦争、日米戦争などについて、
真実の歴史を英文化してきました。

書籍では、東中野先生の『南京虐殺の徹底検証』、
加瀬先生の『大東亜戦争で日本はいかに世界を変えたか』、
パル判決書全文(700 ページ)をはじめ26点、

論文、主張等138点が英文化され、

英語版ホームページに掲載されています。

またこれらは、サイトにアップする時点でNewsletter に
よって、約4000の海外アドレスに発信されています。
また3500の日本国内のアドレスにも送られています。

これらの活動はすべて有志の皆様のお志（会費、
ご寄付等）によって可能となっております。

日本を思う皆様！

是非とも

「史実を世界に発信する会」への
ご支援をお願いします！

「史実を世界に発信する会」支援賛助・会員申込書

送付先： 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-13-14
新佐久間ビル 3F
電話 03-3519-4366
FAX 03-3519-4367
Email: moteki@sdh-fact.com
FAX 又は郵送にてお送りください

申込日 平成 年 月 日

- ☐ 支援賛助金 (金額随意) _____ 円
- ☐ 個人会員 年会費 1口 1万円 _____ 口
- ☐ 賛助会員 年会費 1口 10万円 _____ 口
- ☐ 法人会員 年会費 1口 30万円 _____ 口

・振込口座 ☐ 郵便振替 00170-1-389220

(振替用紙ご送付ご希望の方: YES NO どちらかを囲んで下さい)

YES でしたら、お送りします。)

☐ 三井住友銀行日比谷支店 普通 8286008

口座名はいずれも「史実を世界に発信する会」どちらかにレを付けて下さい。

お名前／会社名	
* 勤務先に連絡希望の場合: 担当者の氏名・所属先	
ご住所 〒	
電話番号	Email

- 注 1、会費・賛助金をご寄付いただいた方のお名前は毎月イニシャルにて、ホームページ(ご支援のお願い→収支報告書ページ)にご報告します。
- 2、収支報告は半年毎に同じく、収支報告書ページに掲載いたします。